

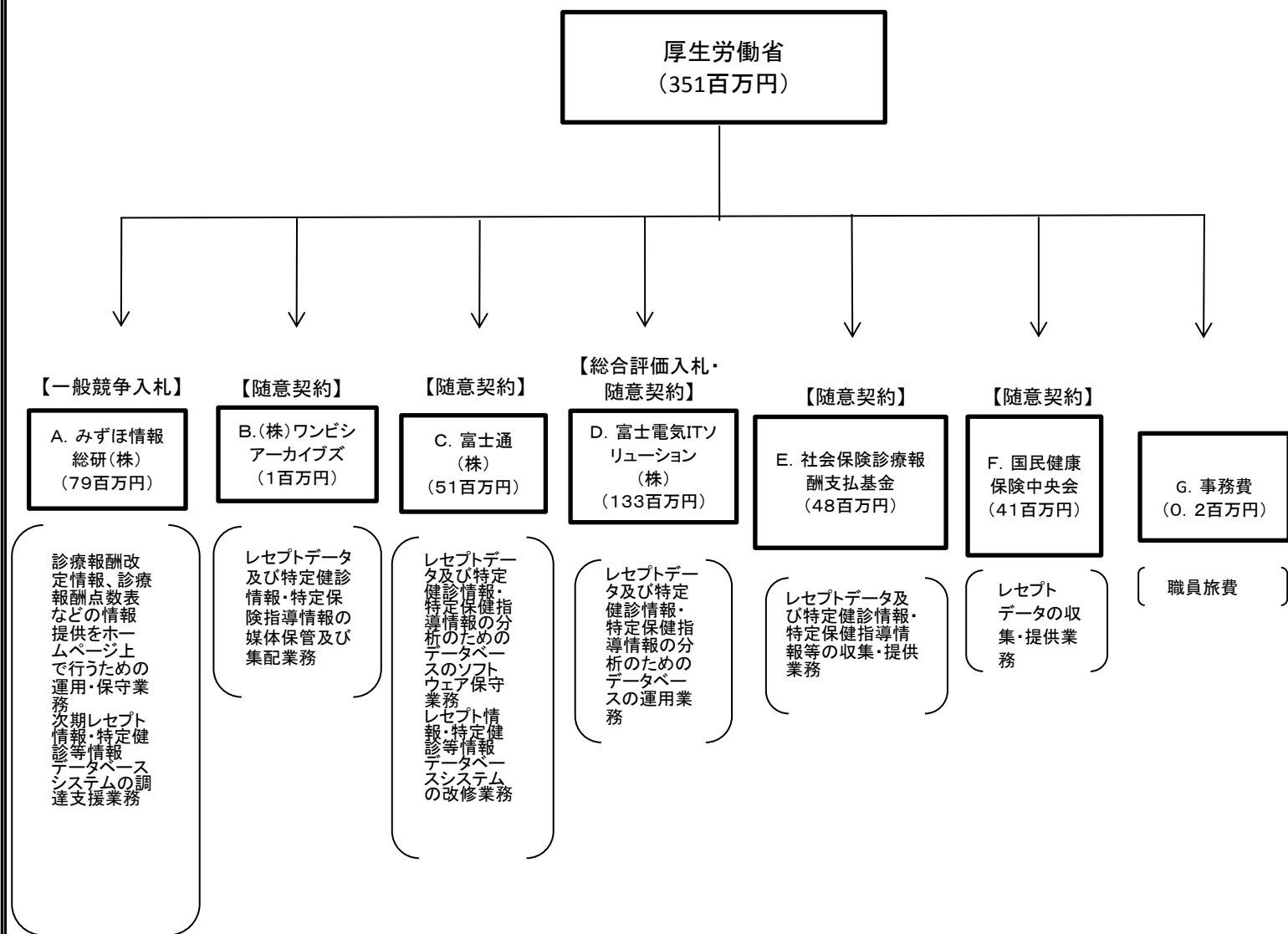
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	レセプト電算処理システムの推進に必要な経費		担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度		担当課室	総務課保険システム高度化推進室	佐久間 敦			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	レセプトの電子化により、医療保険事務全体の効率化を図るとともに、レセプトデータ等の収集、分析、調査を行い、その分析・調査結果に基づいた計画を策定することで、医療費適正化、医療サービスの質の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・診療報酬請求については、平成21年11月の請求省令改正により、完全義務化から原則化とし紙媒体による請求も可能となったが、保険医療機関等、審査支払機関及び保険者を通じた電子レセプト請求の促進を進める。</p> <p>・「高齢者の医療の確保に関する法律」により、レセプト情報・特定検診等情報を収集し、医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査及び分析を進める。また、正確なエビデンスに基づく施策の推進のために利用する行政機関や、医療サービスの質の向上等を目指した研究又は学術の発展に資する目的で行う研究に対して、当該情報の提供を行う。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	605	497	430	571	1,430	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	605	497	430	571	1,430		
	執行額	345	366	351				
執行率(%)	58.1%	73.6%	81.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)	
	保険医療機関等、審査支払機関及び保険者を通じた電子レセプトの請求について原則電子化を目指す(平成26年度末)。		成果実績	機関	142,132	157,367	166,599	176,977
			達成度	%	64.9%	71.1%	74.9%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	レセプト情報等収集件数		活動実績 (当初見込み)	件	152,958万	164,161万 (-)	169,349万 (-)	171,383万 (-)
単位当たりコスト	0.16 (円/件)		算出根拠	データベース運用関係経費執行額/レセプト情報等収集件数 (278百万円/169,349万件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	診療報酬情報提供サービスの維持管理に必要な経費	40	42	契約実績に基づく増				
	レセプトの電子請求の普及促進に必要な経費	1	1					
	レセプト分析の体制整備経費等	241	254	次期システム運用環境を構築することによる増				
	レセプト情報・特定健診等情報データベースシステム機器更新経費	289	645	更改機器調達による増				
	レセプト情報・特定健診等情報データの利活用促進に必要な経費	0	488	「新しい日本のための優先課題推進枠」488				
	計	571	1,430					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療の効率化、医療サービスの向上は、国民が広く求めるものである。また、医療費適正化計画の作成に係る情報の整備は国の責務である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	レセプト電子化を推進し、その電子化された情報をすべて収集することは国でなければ実施できない。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	レセプト電子化による医療の効率化を図ることは、効率的な医療の推進の観点から優先度は高い。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	レセプトデータの収集先が特定されること、収集したデータをシステムに格納する技術に著作権があること等により随意契約が多くなっているが、適宜、契約内容の見直しを図っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	電子化されたレセプト等データを収集するのに、1件あたりのコストはごく少額である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	レセプト電子化の推進及びレセプト情報等の収集、分析に必要な経費のみであり、必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一部で契約額が予算額を大きく下回り、不用となっているが、実績に合わせた予算に適宜見直しを図っている。		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険中央会よりまとめてデータを収集することで、各保険者と個別に契約するのに比べて、効率化を図っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	レセプト請求の電子化率は着実に向上している。収集したデータは医療費適正化計画の策定等に活用されているほか、研究者等第三者へ提供を行っている。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>・診療報酬請求について、平成21年11月に請求省令を改正し紙媒体による請求も可能となったが、平成23年度から診療報酬の請求方法を原則として電子請求としており、平成20年4月時点で46.6%の電子請求率が平成25年3月末現在で74.9%(施設数ベース)となった。平成25年度以降についても、保険医療機関等が電子レセプト請求を行うための環境整備のための支出は引き続き必要と考えている。</p> <p>・高齢者の医療の確保に関する法律により、医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査及び分析に必要なレセプト情報等を収集しており、平成25年3月末時点での累計件数は約5,597百万件となった。レセプトの電子化の普及が進むことでレセプトデータ等情報の件数が増加することが見込まれることから、より精度の高い調査・分析を行う事が可能となるため、当該事業への支出は引き続き必要と考えている。</p>					
	外部有識者の所見					
<p>執行率を勘案し予算額への反映が必要。(長崎、井出)</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事 業 内 容 の 改 善	<p>本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当であるが、適正な執行となるよう、経費の見直しが必要。</p>					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮 減	<p>外部有識者の所見を踏まえ、競争性確保の観点から、競争性のある契約方式を実施したことによる削減。(14百万円)</p>					
	備考					
<p>平成24年度提言型政策仕分け テーマ:様々な主体が行っている国民の健康づくりに資する取組みの一体的・効率的推進 提言(取りまとめ) 【総論】 高齢化の進展や医療の高度化による医療費の上昇を抑えながら国民の健康維持を図るためには、まずは国民一人ひとりが意識を高め、自ら生活習慣を振り返って積極的に健康づくりに取り組むことが欠かせない。セルフケアと健診医療とは両輪であることをふまえ、健診の費用対効果、受診のモチベーション喚起、データの効率的活用などの視点を強めて果敢に取り組んでいただきたい。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	285	平成23年	259	平成24年	224

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.みずほ情報総研(株)			E.社会保険診療報酬支払金		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
保守経費	メンテナンスシステム保守費、情報提供システム保守運用経費等	42	情報提供費	レセプト及び特定健診データ抽出作業経費等	48
雑役務費	業務分析、各種調達案仕様書作成経費等	37			
計		79	計		48
B.(株)ワンビシアークाइブズ			F.国民健康保険中央会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
通信運搬費等	レセプト等データの媒体保管料及び運搬費	1	情報提供費	レセプトデータ抽出作業費等	41
計		1	計		41
C.富士通(株)			G.事務費		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
保守経費	ソフトウェア保守経費	5	事務費	職員旅費	0.2
改修経費	データベースシステムの診療報酬改定対応改修経費	30			
改修経費	データベースシステムの改修経費	16			
計		51	計		0
D.富士電機ITソリューション(株)			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
保守運用経費	データベース運用、システムハードウェア保守経費	125			
集計出力経費	データ集計、出力業務	8			
計		133	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	ホームページの運用・保守	42	1	97.5%
2	みずほ情報総研(株)	次期データベースシステムの調達支援	37	2	50.6%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ワンビシアーカイブズ	レセプトデータの保管及び運搬	1	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	データベースシステムのソフトウェア保守運用	5	随意契約	
2	富士通(株)	データベースシステムの診療報酬改定対応改修	30	随意契約	
3	富士通(株)	データベースシステムの改修	16	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士電気ITソリューション(株)	データベースシステム運用、ハードウェア保守経費	125	1	99.8%
2	富士電気ITソリューション(株)	データ集計、出力業務	8	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会保険診療報酬支払金	レセプト及び特定健診データ抽出作業	48	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国民健康保険中央会	レセプトデータ抽出作業	42	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	事務費	職員旅費	0.2		